

第4回

GYOSEKI 大会

Training The Next Generation Of Fundamental Investors

ルールと規定

ご不明な点がございましたら、contact@gyoseki.com へご連絡ください。

Gyoseki大会

目的：

1. 金融リテラシーを向上させること
2. ファンダメンタル・アナリストとして、実践経験を得ること

概要：

投資分野でチャレンジしたい又は機関投資家を目指す学生の皆さまが、実践的に分析力および調査力を試すことができ、株式投資の基礎となる業績予想を通して、課題になった銘柄の利益予想の正確性と予想のプロセスを競う大会

言語や国籍、所在地の壁を越え、誰もが平等に実力を発揮できる大会を目指しています

第4回大会パートナー企業およびご後援団体

Platinum Partner



Gold Partners



TOKIO MARINE
ASSET MGT

東洋経済新報社



SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

PRONEXUS
株式会社プロネクサス

Supporters



学生へのメリット

ファンダメンタル分析を実践

- プロフェッショナル向けのデータやツールを活用し、プロフェッショナルからプロセスを学び、プロフェッショナルと同じ条件で分析を実践

交流機会

- パートナーのエグゼクティブとの交流会へのご招待

決勝進出チームの特典

- 決勝進出チームには決勝に向けて特別メンターシップを提供
- 上位5チームは賞金合計30万円

スケジュール

10月10日（金）	大会登録開始
11月1日（土）	大会開始
11月～12月	協賛企業による勉強会 <ul style="list-style-type: none">・eolとFinder Proの活用方法：（プロネクサス）・オルタナデータの活用方法：（Nowcast）・ファンダメンタルズ分析とPLモデルの基礎：（東京海上AM）・業界地図：業界の構図について（東洋経済）・情報の伝え方：（BlackRock Japan）
1月4日（日）	提出期限（23:59）
2月中旬	予選通過チーム発表
2月下旬	決勝進出チーム発表
2月下旬	上位チームのプレゼン準備・特別メンターシップ
3月18日（予定）	メインイベント（決勝）

協賛企業による勉強会

「eol・FinderPro データベースの活用方法」：企業財務および市場データの取得・加工方法

- プロネクサス
- 11月6日 16:30 -

「ファンダメンタルズ分析とPLモデルの基礎」：プロから学ぶ予想方法

- 東京海上アセットマネジメント
- 11月19日 18:00 -

「オルタナデータ端末の活用方法」：POSデータを活用した独自の視点の持ち方

- ナウキャスト
- 11月26日 18:00 - (TBC)

「業界地図」：業界研究の方法

- 東洋経済新報社
- 11月下旬～12月上旬予定

「ファンドマネージャーに伝わる情報発信」：重要な要素を正確に理解してもらうために

- BlackRock Japan
- 12月上旬予定

参加者

参加条件：

- 対象：大学生・大学院生 (MBA含む)
- 国・国籍：制約無し

チーム人数：1~3名

参加費：無料

参加方法：

- レポート、財務モデル、動画はGyoseki上で提出
- メイン・イベントは東京の会場で開催予定
 - ファイナリストは対面で出席必須
 - 交通費は自己負担

評価対象

題材の3銘柄のファンダメンタルズを分析

- 業界や事業を分析し、業績およびガイダンスを予想

提出物（予選・中間用）

- 全3銘柄の売上・営業利益・純利益予想
- 1銘柄について
 - レポート：分析プロセス・結果(テキストは4,000字以内/2,000英単語以内)
 - 財務モデル：予想値の根拠(PL予想サマリー・シートを含めること)
 - 動画：予想の前提や結果をハイライト(3分未満)
- 英語・日本語、どちらでも可
- 提出方法：Gyosekiシステム* (無料)

評価基準

- 業績予想の精度と分析のプロセス（次ページ参照）

*提出方法は後日お送りいたします

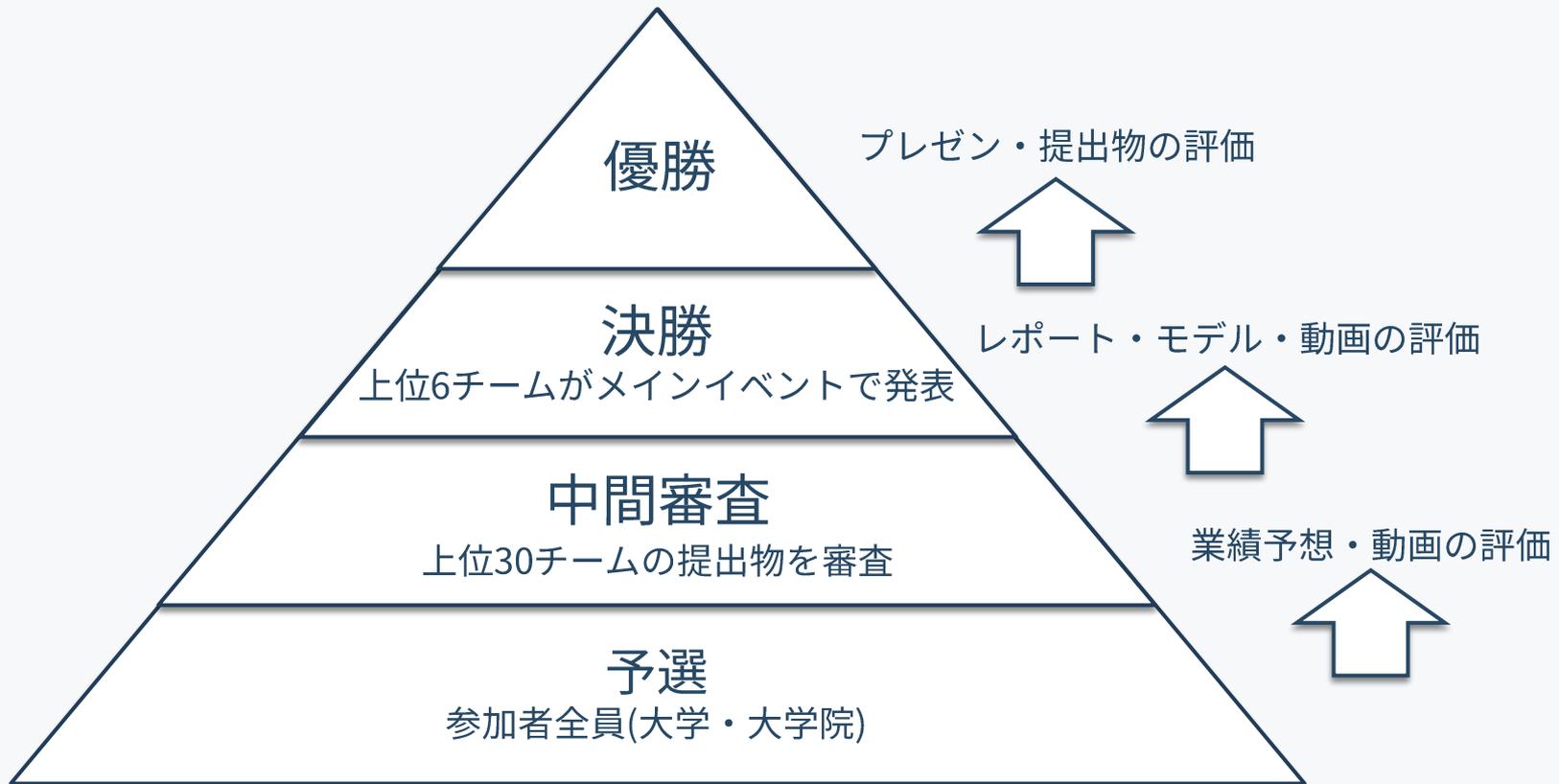
提出物と期限（予選～決勝）

ラウンド	予選・中間	決勝
提出日	2026年1月4日	メインイベント当日 2026年3月18日
結果通知日	2月下旬	メインイベント当日 2026年3月18日
提出物	<ul style="list-style-type: none"> 業績予想モデル レポート プレゼン動画 	メインイベントでの プレゼンテーション
通過チーム数	30チーム	6チーム

一部変更になる可能性があります

審査プロセス

予想の精度・プロセスを審査



一部変更になる可能性があります

予選 通過基準

- ① 予想値の精度を基にした勝ち点のランキング上位順
 - ② 動画評価を通過
- ①+② の上位30チームが中間ラウンド進出

予選 通過基準：勝ち点（予想値の精度）

各社の営業利益・純利益を予想し、実際の公表値との乖離に基づいて「勝ち点」を付与

順位

- 上位から点数を付与（右図参照）
- 予想値が同額の場合、早く入力した方を優先

対 コンセンサス

- Gyosekiコンセンサスより近い場合 +5点
 - $A = \text{絶対値(実績 - 予想値)}$
 - $B = \text{絶対値(実績 - Gyosekiコンセンサス)}$
 - $A < B \rightarrow +5\text{点}$

	営業利益	純利益
1st ~ 2nd	9pts	3.5pts
3rd ~ 5th	7pts	2.5pts
6th ~ 10th	5pts	1.5pts
11th ~ 20th	3pts	0.5pts

予選 通過基準：動画の評価（60%以上で通過）

項目	配分	評価ポイント
構成・論理性	30%	<ul style="list-style-type: none"> • 明確で分かりやすい流れ • 仮説、根拠、リスク、結論、と論理的な展開 • 内容と時間配分のバランス
伝達力	30%	<ul style="list-style-type: none"> • 聞き取りやすい声、適切なスピード・トーン • 専門用語の説明 • 追いややすいストーリー
独自性	30%	<ul style="list-style-type: none"> • ユニークな調査方法・独自の視点 • オルタナデータなどの活用
スライド・資料	10%	<ul style="list-style-type: none"> • 適正な情報量で見やすいスライド • 効果的にグラフやチャートを使用 • 統一したデザイン

中間審査 通過基準：レポート＋モデル＋動画

項目	配分	評価ポイント
レポート	40%	<ul style="list-style-type: none">主に定性的な分析
モデル	30%	<ul style="list-style-type: none">主に定量的な分析
動画	30%	<ul style="list-style-type: none">主にプレゼンカ

中間審査 通過基準：レポートの評価

項目	配分	評価ポイント
業界分析	20%	<ul style="list-style-type: none"> 業界についての分析（需供・その他） サプライヤーや顧客を含む主要プレイヤーの説明 長期的な構造や規制の変化
ビジネス分析	20%	<ul style="list-style-type: none"> 戦略的ポジショニングと競争優位性 主要指標の競合比較 中長期の戦略
業績予想	40%	<ul style="list-style-type: none"> 主要な収益ドライバー 証拠やデータに基づいた予測前提 2026年度の期初ガイダンスの予想 ガイダンスやコンセンサスとの乖離
独自性	20%	<ul style="list-style-type: none"> ユニークな分析方法 独自の視点 シナリオ分析

中間審査 通過基準：モデルの評価

項目	配分	評価ポイント
基本的な構造	20%	<ul style="list-style-type: none"> PLの構造（売上、営業利益、純利益の予想） 主なBS・CF項目 マクロやセグメントデータ
粒度・詳細	40%	<ul style="list-style-type: none"> 収益ドライバー（数量・価格・市場シェアなど） eol、Finder Pro、SCRIPT、ノウキャストなどのデータを含む、独自のデータの活用
精度・フォーマット	20%	<ul style="list-style-type: none"> 数値・関数の正確性（エラーチェック含む） 実績：青字、関数：黒字、前提：緑字 再現性（データの出所など）
独自性	20%	<ul style="list-style-type: none"> 独自の視点（一部「粒度・詳細」と被る） シナリオ分析（主な変数とその感応度）

中間審査 通過基準：動画の評価

項目	配分	評価ポイント
構成・論理性	30%	<ul style="list-style-type: none"> • 明確で分かりやすい流れ • 仮説、根拠、リスク、結論、と論理的な展開 • 内容と時間配分のバランス
伝達力	30%	<ul style="list-style-type: none"> • 聞き取りやすい声、適切なスピード・トーン • 専門用語の説明 • 追いやすいストーリー
独自性	30%	<ul style="list-style-type: none"> • ユニークな調査方法・独自の視点 • オルタナデータなどの活用
スライド・資料	10%	<ul style="list-style-type: none"> • 適正な情報量で見やすいスライド • 効果的にグラフやチャートを使用 • 統一したデザイン

決勝 評価基準：プレゼン・レポート・モデルの評価

最終プレゼンテーション

- ・ プレゼン5分、質疑応答5分
- ・ プレゼン用のスライド提出可能
- ・ 英語（質疑は日本語も可能）
- ・ 事前準備に、プロフェッショナルから特別メンターシップあり
- ・ 新しい決算情報を反映（アップデート）可能

レポートおよびモデルは予選・中間に使用した提出物

第3回メインイベントの様子：<https://www.youtube.com/watch?v=Eb34ThnhyOg>

一部変更になる可能性があります

提出方法

手順は登録後、11月1日にお送りします。

※Gyosekiシステム上で、1分以内で完了します。

歴代入賞者属性

第3回の入賞チーム

1. 東京大学・早稲田大学
学部生 3名
2. 東京大学 学部生・院生 2名
3. 慶応義塾大学 学部生 3名
4. 早稲田大学・東京大学
学部生 2名
5. 慶応義塾大学・名古屋大学
学部生・院生 2名
6. NYU・UPenn・Columbia
学部生 3名

第2回の入賞チーム

1. 東京大学・早稲田大学
学部生・院生 3名
2. 慶応義塾大学 学部生 1名
3. 慶応義塾大学 学部生 1名
4. 慶応義塾大学 学部生 3名
5. Esade Business School 1名

第1回の入賞チーム

1. 東京大学 学部生 3名
2. 早稲田 Business School 1名
3. 東京大学 院生 1名

